

「阿呆理詰日記 2115」 2007/6/1

歴史から目をそらすまい、式スローガンが惰性化してきた歴史から目をそらすまい。

「阿呆理詰日記 2116」 2007/6/2

歴史から目をそらすまい、式スローガンの虚ろさから目をそらしてきた歴史からも目をそらすまい。

「阿呆理詰日記 2117」 2007/6/3

論理的であるために辻褄を合わせてはならない。

感情的になったとしても辻褄は合っていてよい。

「阿呆理詰日記 2118」 2007/6/4

アホだと思われたくないために利己的に徹するやつと、

利他的だと思われたいためにアホに徹するやつと。

「阿呆理詰日記 2119」 2007/6/5

幽霊と、幽霊の話と、平均してどちらのほうが怖いのだろう。

「阿呆理詰日記 2120」 2007/6/6

呪いと、呪いの噂と、合計してどちらのほうが怖がられているのだろう。

「阿呆理詰日記 2121」 2007/6/7

近視眼は遠くにさまよいがち、遠謀深慮は手近にそれがち。

「阿呆理詰日記 2122」 2007/6/8

私は無視されても疎外されても気にしない。本当に本当の疎外ならばね。

「阿呆理詰日記 2123」 2007/6/8

戦争にとって、悲惨さは必要である。

必要以上の悲惨さすら、戦争には必要である。

悲惨にとっては、戦争は不要である。それだけのこと。

「阿呆理詰日記 2124」 2007/6/10

この世に悲惨は必要である。悲惨があることはちっとも悲惨じゃない。

ただ悲惨なのは、どの特定の悲惨も必要ないということである。

「阿呆理詰日記 2125」 2007/6/11

誰にとっても幸福は容易である。幸福であることはちっとも幸運じゃない。
ただ不運なのは、どの特定の幸福もきわめて困難ということである。

「阿呆理詰日記 2126」 2007/6/12
魅入られたからといって勿論、ほんとうに見入らなくたっていい。

「阿呆理詰日記 2127」 2007/6/13
貧困、天災、病気、戦争、孤独、……
もし選べるなら、悲惨はちっとも悲惨ではないだろう。
富、栄誉、愛、快、健康、……
もし選べないなら、幸福はちっとも幸福ではないだろう。

「阿呆理詰日記 2128」 2007/6/14
そのままではいけない。
そのものでなければ。

そのまねでもよいが。
そのむねならなおよい。

「阿呆理詰日記 2129」 2007/6/15
人を傷つけずに怒らせるのは簡単。
今の世の中、不幸な人などほとんどいない。
的なことを言えばよい。
怒るのは幸せな境遇にいる人ばかりだが。

「阿呆理詰日記 2130」 2007/6/15
推敲例；
2129×3 / 4
のうのうと怒ってられるのは幸せな境遇の人ばかりゆえ。

「阿呆理詰日記 2131」 2007/6/17
今日の私がありますのは、ひとえにこうした臆面もない常套句を自己言及で隠しおおせてきたからであります。

「阿呆理詰日記 2132」 2007/6/18
目新しいというだけで飛びつく人にかぎって、馴染んでるからといつまでもしがみつく。知り尽くしたので飽き飽きだと言う人にかぎって、新奇なものには尻込みする。

「阿呆理詰日記 2133」 2007/6/19
時を待ちながら時を稼ごうとするからいつまでたっても時機を得ない。

「阿呆理詰日記 2134」 2007/6/20

テクノロジーへの疑問が深まれば深まるほど、テクノロジーを否定できなくなってゆく。
否定すればするほど、拒めなくなってゆく。
受け容れれば受け容れるほど、疑問は深まってゆく。

「阿呆理詰日記 2135」 2007/6/21

小説を山ほど読んでもちっとも人間がわかるようにならないとぼやくは、名画をこんなに見続けているのにちっとも視力がよくなるとこぼすがごとし。
論理を学んでほんとに頭がよくなるのかと疑うは、名曲を聴き続けたわりに耳鳴りが改善されてないようなと訝るがごとし。

「阿呆理詰日記 2136」 2007/6/22

孤独を求める者ほど沈黙に耐えられない。

「阿呆理詰日記 2137」 2007/6/23

孤独を求める者ほど喧騒にくつろぐ。
静寂を望む者ほど無音に苛立つ。

「阿呆理詰日記 2138」 2007/6/24

なぜうまくいかないのか。準備が足りなかったのか。詰めが甘かったのか。いや、うまくいくことの定義が欠けていたのか

「阿呆理詰日記 2139」 2007/6/25

どれの定義が欠けていたのか。

←2138

「うまく」か。なら楽勝だ。
「いく」か。それもなんとかなる。
「ない」か。かなり手こずりそうな。
「なぜ」か。手の施しようがない。
「のか」か。電波か。

「阿呆理詰日記 2140」 2007/6/25

退屈するのにヒマは要らない。

「阿呆理詰日記 2141」 2007/6/27

哲学は人生論であってはならない。
が、人生論に応用できないようでは哲学として失格である。

「阿呆理詰日記 2142」 2007/6/28

人生論に役立つ言葉は、必ず人生に役立つ。人生論という人生の一部を介して。
人生に役立つ道具は、人生論に必ず役立つ。論という人生の余剰を迂回して。

「阿呆理詰日記 2143」 2007/6/29

習慣を守っていれば惰性に流されることはない。

「阿呆理詰日記 2144」 2007/6/29

習慣に守られていると惰性に流されていく。

「阿呆理詰日記 2145」 2007/7/1

足もとを見られても、手もとを隠していれば大丈夫。

「阿呆理詰日記 2146」 2007/7/2

恥かしがらないで、言うべきことは言え。
恥かしがらないで、恥ずべき過去は恥じよ。

「阿呆理詰日記 2147」 2007/7/3

「論理的」の定義って？
辻褃合わせの必要がないってこと。

「阿呆理詰日記 2148」 2007/7/4

差別をなくす唯一の手はもちろん、誰もが無差別の差別主義者になること。

「阿呆理詰日記 2149」 2007/7/5

不遇な人生とは、自分が主人公ではない人生だろうか。
不幸な人生とは、自分しか主人公のいない人生だろうか。

「阿呆理詰日記 2150」 2007/7/6

秘密を暴露したとて、たいていの場合、公の秘密を一つ増やすにすぎない。

「阿呆理詰日記 2151」 2007/7/7

感情に流されるやつが情感を解せないように、
性感に溺れるやつは感性を曇らせる。
解読に長けたやつの読解が正しいとはかぎらぬように、
自明な解答がつねに明示に向いているとはかぎらない。

「阿呆理詰日記 2152」 2007/7/8

神は崇めるに値しない。人間の信仰の対象としてふさわしい程度の神なら。

「阿呆理詰日記 2153」 2007/7/9

悪しき時代の定義。小悪が、悪であるがゆえでなく小であるがゆえに悪である時代。
良き時代の定義。巨悪が、巨であるがゆえでなく悪であるがゆえに悪である時代。

「阿呆理詰日記 2154」 2007/7/9

戦争の主たる原因は、戦争をなくそうという希望である。
戦争の第一の原因は、戦争の原因をなくそうとする執念である。

「阿呆理詰日記 2155」 2007/7/11

悩むからには信じられたら。これ愛の発生。
悩むほどには信じてしまえ。これ愛の発展。
信じるくらいなら悩んでやれ。これ愛の発酵。
信じるからこそ悩まねば。これ愛の発見。

「阿呆理詰日記 2156」 2007/7/12

人生の不調は、結局、
生き方のデザインを重視するのか、パフォーマンスを尊ぶのかを決めそこねたことによる。
結局、持久力で勝負したかったのか、瞬発力で進みたかったのかが自覚できていないことによる。
この二つの「結局」のいずれに近いのか、判断できていないことによる。

「阿呆理詰日記 2157」 2007/7/12

陳腐な言葉が絶大な力を及ぼすときがある。——新奇な行動が革命を起こすとき。

「阿呆理詰日記 2158」 2007/7/14

愛の記念は恥の証拠。誇るべき恥の。後ろめたい愛の。
名誉の余韻は罪の痕跡。愛すべき罪の。恥ずべき名誉の。

「阿呆理詰日記 2159」 2007/7/15

言葉は無力である。言葉が「力」を定義するかぎりは。

「阿呆理詰日記 2160」 2007/7/16

人間は非力である。「力」が人間によって定義されているかぎり。

「阿呆理詰日記 2161」 2007/7/17

人間は非力である、とする「力」の定義によって、人間は力を得ている。

「阿呆理詰日記 2162」 2007/7/18

実数 x と y について、 $x \geq y$ のとき、 $x = y$ である確率はゼロである。
が、もちろん $x = y$ は不可能ではない。

「阿呆理詰日記 2163」 2007/7/19

任意の正の実数 x につき、過去の歴史が x 秒以下である確率はゼロである。歴史が自由であるならば。

「阿呆理詰日記 2164」 2007/7/20

日々の判断を、すべて診断に置き換えよう。
ミスは減らないかもしれないが、目立つようにはなるだろうて。

「阿呆理詰日記 2165」 2007/7/21

うまく生きるコツは、人生のプロを気取ること。
しぶとく生きるコツは、人生の素人と開き直すこと。

「阿呆理詰日記 2166」 2007/7/22

ベタな気取りと巧みな気取られ。
文化度の指標。その比率が。絶対量が。相関度が。

「阿呆理詰日記 2167」 2007/7/27

2166. ベタなきどりとたくみなけどられ。とよませるつもりですが、ベタなけどりとたくたおられましたら。ゆだんきもんつですなあ。さくしゃのいとしないいみなんですぐにじみでていく。

「阿呆理詰日記 2168」 2007/7/27

外見でなく心で判断してください、なんて言う女の心にかぎって×。
心なんて言わず外見で勝負、と構える女の外見にかぎってもちろん×。

「阿呆理詰日記 2169」 2007/7/27

出る杭は打たれる社会。全体主義。
出る杭を打つやつが打たれる社会。全体主義の始まり

「阿呆理詰日記 2170」 2007/7/27

「ひらめいた！」そう、私らはたえずひらめいている。たいていの場合、スクリーンが張られてな

いので何も映らないのだが。

「阿呆理詰日記 2171」 2007/7/27
共通性を見て取れる眼力だけが、一般化の罟を逃れることができる。

「阿呆理詰日記 2172」 2007/7/28
すれ違いは必然だ。偶然はどこですれ違いかだな。
どこですれ違いかは突然だ。どうやってすれ違いかは天然だな。

「阿呆理詰日記 2173」 2007/7/29
信じよ——いま最も必要なのは、必要に応じて信じる心だということ。

「阿呆理詰日記 2174」 2007/7/30
長いものに巻かれてはならない。そのぶん、長いものに巻かれろ、的言辭には巻かれておくがいい。

「阿呆理詰日記 2175」 2007/7/31
「抽象的」がしばしば悪い意味を持つのに「具体的」はそうでないのは、「具体的」って言葉が抽象的だからじゃないですかね。「抽象的」が具体的すぎるのに対して。

「阿呆理詰日記 2176」 2007/8/1
男女がそこそこうまくやってるのは、そこそこうまくやれると思ってるからじゃないですかね。それ以上に、そこそこうまくやれるわきゃないと感じてるからじゃないですかね。

「阿呆理詰日記 2177」 2007/8/2
予約を反故にしおるやつにかぎって、予定に縛られとる。

「阿呆理詰日記 2178」 2007/8/3
世間は理由に満ちている。何事も満ちる理由ばかりはないのだが。

「阿呆理詰日記 2179」 2007/8/4
人生、いちばん重要な出来事。むろん人それぞれ。
人生、いちばん重要ばい出来事。最初の別れと最後の出会い

「阿呆理詰日記 2180」 2007/8/5
重要ばいものより重要なもののほうがもちろん重要。
重要ばさのほうが重要さより案外重要。

「阿呆理詰日記 2181」 2007/8/6
重要なものより重要ばいものの方がもちろん重要ばい。

「阿呆理詰日記 2182」 2007/8/7
[2181 ← 2180] は案外当然。
[2182 ← 2181&2180] は当然意外。

「阿呆理詰日記 2183」 2007/8/8
[2182 ← 2181&2180] は当然意外。
[2183 ← 2182] は当然自然。

「阿呆理詰日記 2184」 2007/8/9
…………… 案外当然。当然意外。
[2183 ← 2182] は当然自然。
[2185 ← 21
[2184 ← 2183] は俄然論外。 は無論未然。

「阿呆理詰日記 2185」 2007/8/10
決まり文句を多用することには、たいてい弊害すらない。
かろうじて害をなすのは、決まり文句が美辞麗句である場合だ。

「阿呆理詰日記 2186」 2007/8/11
ラクをすることとココチヨクなることとどちらを優先するか。
分かれ目はみんなそれ。

「阿呆理詰日記 2187」 2007/8/12
ココチヨクになりたいのかココロヨクになりたいのか。
分かれ目と結び目との分かれ目はみんなそれ。

「阿呆理詰日記 2188」 2007/8/13
自分を傷つける人より他人を傷つける人のほうが勿論迷惑なのに、
他人を責める人より自分を責める人のほうが困りものなのはなぜ。

「阿呆理詰日記2189」 2007/8/14

自○→自尊→自信→自愛→自△→自慢→自贊→自彡→自得→自□→自律→自立→自活→自走→
自衛→自助→自◇→自問→自制→自慰→自嘲→自省→自◎→自責→自\$→自※→自損→自罰→
自☆→自△→自失→自滅→自殺→自爆→自*→自%→自由→自明→自#→自○→

「阿呆理詰日記2190」 2007/8/15

存→尊→信→愛→負→慢→贊→薦→得→足→律→立→活→走→衛→助→演→問→制→慰→嘲→
省→戒→責→白→縛→損→罰→傷→棄→失→滅→殺→爆→壊→転→由→明→在→存

(覚→) ト (沈→) フ挿入サレヨ。

「阿呆理詰日記2191」 2007/8/16

増補改訂版 whether or not 改良版

自然→自発→自生→自存→自証→自我→自己→自主→自尊→自信→自愛→自負→自慢→自贊→
自薦→自認→自得→自足→自律→自立→自給→自活→自走→自衛→自助→自称→自流→自学→
自演→自習→自問→自照→自制→自重→自肅→自晦→自閉→自慰→自嘲→自省→自答→自知→
自覚→自警→自戒→自責→自白→自縛→自損→自虐→自暴→自罰→自傷→自棄→自失→自滅→
自殺→自爆→自沈→自壊→自浄→自動→自転→自乗→自由→自明→自在→自然

自炊、自社、自毛、自家、自著、自筆、自国、自治 等ノ余地アルヤ否ヤ。

自死、自刃、自裁、自洗、自首、自供、自反 等派生類ノ余地如何。

自分、自力、自決、自働、自強、自任、自前 等微妙路線は如何。

「阿呆理詰日記2192」 2007/8/17

駆け抜ける速力がないのに抜け駆けするやつ。抜け駆けする知力がないから駆け抜けるやつ。抜き打ちで打ち抜かれて、打ち掛けに賭ける棋士。

「阿呆理詰日記2193」 2007/8/18

人生は比喩。

忘れられて消えるか、定型化して死ぬか。

人生は比喩。

死んだ比喩が使われ続けるのと同じく、死んだ人生も生き続けられる。

「阿呆理詰日記2194」 2007/8/19

トラブルの最大のもとは、無理な願望でもなければ邪悪な願望でもない。曖昧な願望である。

「阿呆理詰日記2195」 2007/8/20

夢だとわかっている夢は夢。幻覚だとわかっている幻覚は幻覚。妄想だとわかっている妄想は洞察。煩惱だとわかっているなら煩惱は創造。

「阿呆理詰日記2196」 2007/8/21

夢だとわかっても夢はまだ夢。幻だとわかっても幻はしょせん幻。確かに現実だとわかったとたんに現実こそゆめまぼろし。

「阿呆理詰日記2197」 2007/8/22

戦争の勃発は、平和を求める心から。
平和の確立は、戦争を守る心から。

「阿呆理詰日記2198」 2007/8/23

真にムカツくのは、反対を許されないことではない。同意を求められないことである。

「阿呆理詰日記2199」 2007/8/24

偏見に抗う最善の策は、偏見の正しい部分を認めること。
偏見を覆す最善の策は、偏見の正しい使い方を示すこと。

「阿呆理詰日記2200」 2007/8/25

死んだ比喻こそ使いやすいのと同じく、死んだ人生だけが安全に生き続けられる。

←2193

「阿呆理詰日記2201」 2007/8/26

神を恐れる者に三種。
いたら怖い。いるから怖い。いないかもしれないので怖い。

「阿呆理詰日記2202」 2007/8/27

神を恐れぬ者に三種。

いたらいいな。いてもいいや。いるってなんなの。

「阿呆理詰日記2203」 2007/8/28

けっこうヘコムのは——夢の中でさえ自由に行動できていないと知ったとき。

「阿呆理詰日記2204」 2007/8/29

死んだらそれっきり。予測できます。

生まれる前はまだ何も。しっかり憶えています。

「阿呆理詰日記2205」 2007/8/30

宇宙に生命が生まれたのは、最大の恵み。

生命が最大の恵みだとは、最悪の災い。

「阿呆理詰日記2206」 2007/8/31

神に選ばれたのは、ホモサピエンスの最大の榮譽。

ホモサピエンスを選んだとは、神の最悪の名折れ。

この構造でこれが至高だとは、これの榮譽。

この構造で至高がこれだとは、この構造の限界。

「阿呆理詰日記2207」 2007/9/6

照れを表現する唯一の方法はもちろん、照れ隠し。

「阿呆理詰日記2208」 2007/9/6

最もキッパリしたケジメのつけかたは、自然消滅である。自然界においてのみならず。

「阿呆理詰日記2209」 2007/9/6

死にたい、と考える余裕があれば死ぬ必要はない。

死にたくない、としか考えられないようなら、死んだほうがいいのかも。

「阿呆理詰日記2210」 2007/9/6

説得されたのか、迎合したのか、自分だけにはわかるように印をつけておくべし。ただし適確な説得力と、適度な迎合をもって。

「阿呆理詰日記2211」 2007/9/6
幽霊屋敷になら不法侵入してもかまわんと。違法ポルノなら違法複製しても疚しくないと。思い込みには勘違いしても許されると。

「阿呆理詰日記2212」 2007/9/6
絶望に二種。希望の欠乏によるものと、希望の過剰によるものと。

「阿呆理詰日記2213」 2007/9/7
本当に面白いことより、本当は面白くないと知ることのほうが面白い。

「阿呆理詰日記2214」 2007/9/8
太陽のおかげで生きられるのに、ほとんどの生き物は日陰に群がる。世の中ってたいいそれ。

「阿呆理詰日記2215」 2007/9/9
人生を真剣に考えているのか、深刻に考えているだけなのかを区別せよ。真剣に区別せよ。

「阿呆理詰日記2216」 2007/9/10
虚をつかれるより、嘘をつかれるほうが安心。
弱みを突かれるより、過ちを突っ込まれるほうが得心。
安心しそこねるより、得心しかねるほうが放心。

「阿呆理詰日記2217」 2007/9/11
偏見に染まるは愚か。偏見に縛られるは哀れ。偏見に抗うは損。偏見を煽るは邪。偏見を生み出すは天晴れ。

「阿呆理詰日記2218」 2007/9/12
やさしくしたからといって、もっとやさしくする義務などない。しかし、期待されて当然である。
うけたからといって、もっとうける必要などない。しかし、そうする義務が生じて当然である。

「阿呆理詰日記2219」 2007/9/13
ひなたを選んだからといって、太陽を直視する責任などない。

「阿呆理詰日記2220」 2007/9/14

本当に面白いと知るより、本当は面白いと知るほうがもちろん面白い。
本当につまらんと知るのはつまらんが、本当はつまらんと知るのは面白い。

←2213

「阿呆理詰日記2221」 2007/9/15

下心が下品なのは、すべての上にかぶさってしまうから。
浮気心が軽薄なのは、沈みさえしなければ浮いているというだけの浮気ぶりだから。

「阿呆理詰日記2222」 2007/9/16

「普通の暮らしがしたい」と言うとき、もちろん普通よりかなり上の暮らしが望まれている。

「阿呆理詰日記2223」 2007/9/17

優先権にしがみついていると選択権を失うよ。
選択権にこだわっていると優先権は認められないよ。
どっちを優先する？ そっちを選択する？

「阿呆理詰日記2224」 2007/9/18

神がいたらそりゃ怖いだろうな。ただし怖いことをするような神だったら怖るるにたらんのだけど。

「阿呆理詰日記2225」 2007/9/18

にわかには信じがたいことだが、独白までが陳腐な人というのは実際にいるのである。
妄想さえも類型的という人が多数派だったりするのである。

「阿呆理詰日記2226」 2007/9/20

無知+偏狭は諸悪の根源だが、磨きをかければ教養+寛容を凌駕する。ただし、あくまで組み合わせを崩してはならないが。

「阿呆理詰日記2227」 2007/9/21

一番災難なのは、意識の欠如。意識の不足。意識の硬直。意識の誤作動。意識の変容。意識の過剰。
意識の存在。

「阿呆理詰日記2228」 2007/9/22

意識の誕生。誕生の意識。
このタイムラグの間に過不足なき苦悩のレパートリーが出揃いました。

「阿呆理詰日記2229」 2007/9/23

「普通の暮らしがしたい」と言われるとき、読み取るべきは、普通よりどのくらい上の暮らしがしたいのかということである。

2222-sophisticated version

「阿呆理詰日記2230」 2007/9/24
青春を浪費しない人生って、最大の浪費ですね。

「阿呆理詰日記 2231」 2007/9/25
老年における時間の空費こそ最大の贅沢。

「阿呆理詰日記 2232」 2007/9/26
パロられてもパクられても気づかんようでは、パクられて当然かな。
パロられたのかパクられたのかわからんようでは、パロられるに値しなかったな。

「阿呆理詰日記 2233」 2007/9/27
夜通しいつまでもぐずぐずと。生への執着ってこんなもんかな。なかなか起きられない朝。死への希求ってほんとよくわかる。

「阿呆理詰日記 2234」 2007/9/28
避けとけ、除けとけ、ただしかわすのは賢くないな。

「阿呆理詰日記 2235」 2007/9/29
理不尽の源は、人に「善人」のレッテルを貼ることである。
理不尽の最たるものは、善人に「善人」のレッテルを貼ることである。

「阿呆理詰日記 2236」 2007/9/30
非理性的な人に三種。理性に欠ける人、理性に凝る人、理性に甘んじる人。
非理性的な人生に三種。非理性的な人の人生、理性的な非人の人生、理性的な人の非人生。

「阿呆理詰日記 2237」 2007/10/1
ウケても、ウレなかつたり。
ウレても、ツレなかつたり。
ツレても、ツカなかつたり。
ツイても、トレなかつたり。
トレても、トエなかつたり。
トウても、トケなかつたり。
トケても、ウケなかつたり。

ウレたりウカレたりカレたり。　イカレたり。

「阿呆理詰日記 2238」　2007/10/1

ひたむきな努力が礼讃されるのは、厚い信仰が称えられるのと同様、考えずに済ませる生活スタイルだからである。

「阿呆理詰日記 2239」　2007/10/3

霊魂は拒め。霊界は笑え。霊視は訴えろ。靈感は信じよ。

「阿呆理詰日記 2240」　2007/10/4

形式が内容のヒントになっている人生。

(がどうだと？ ヒント：)

「阿呆理詰日記 2241」　2007/10/5

人を信じたいんですよ。

信じられない人がいることも信じるんですよ。

信じられる人ってたいてい信じるに値しない人だってことも信じるんですよ。

「阿呆理詰日記 2242」　2007/10/6

宣伝下手であるということこそ、大いにアピールする必要がある。

「阿呆理詰日記 2243」　2007/10/7

素顔を装うは初歩の策略。

素顔で装うは高等な欺瞞。

素顔へ装うは深謀の詐術。

「阿呆理詰日記 2244」　2007/10/8

人を信じる人のほうが、疑り深い人よりも、信じられる人の数を多く見積もっているとはかぎりません。

「阿呆理詰日記 2245」　2007/10/9

詐欺師は慈善家よりずっと人の善意を信じている。

信じてないとつけ込めないし。

信じていれば人任せでよし。

「阿呆理詰日記 2246」　007/10/10

人が過ちを犯すのは、過ちを犯さぬことの不気味さに耐えられないからである。

「阿呆理詰日記 2247」 007/10/11

心を読むのに長けたやつに限って、空気が読めないもんだな。
事情に疎いやつに限って、やたら人の気持ちを察するのな。

「阿呆理詰日記 2248」 007/10/12

ダンゴムシ ハサミムシ ナメクジ ジグモ ワラジムシ シマミミズ フトミミズ コオロギ
アメリカミズアブ ヒト ゴキブリ キョウメニシタドウブツ

「阿呆理詰日記 2249」 007/10/12

弁解をしてはならない。
不要な弁解はとくに。
後悔はしないほうがよい。
必要な後悔はとくに。

「阿呆理詰日記 2250」 007/10/14

愛は多くの者を救う。
ただし忘れてはならないのは（あるいは忘れるべきなのは）、愛はもっと多くの者に呪いをかける
ということだ。

「阿呆理詰日記 2251」 007/10/15

最も意味深なる区別。
無意味の重要性と無意味な重要性。

「阿呆理詰日記 2252」 007/10/15

見かけに騙されない人は、見かけで見破ることもできない。

「阿呆理詰日記 2253」 007/10/17

いのちは、数で計れない価値を持つ。
だからこそ厳密に数を比べなければならない。

「阿呆理詰日記 2254」 007/10/18

愛という語を抽象的に使えるようになって初めて、愛の概念を具体的に理解できる。
愛の概念を抽象的に扱えるようになって初めて、愛を具体的に経験できる。

「阿呆理詰日記 2255」 007/10/18

愛を抽象的に経験できて初めて、愛を具体的に楽しむことができる。

愛を抽象的に楽しむことができ初めて、愛を具体的に有することができる。
愛を抽象的に有することができる初めて、愛を具体的に与えることができる。

「阿呆理詰日記 2256」 007/10/20
本当に好きかどうかは、妥協を楽しめるかどうかでわかる。

「阿呆理詰日記 2257」 007/10/21
芸術家の質を決めるのは、情熱ではなく、興奮。
恋人の趣を決めるのは、情熱でも興奮でもなく、余勢。

「阿呆理詰日記 2258」 007/10/21
つめたい人の愛は信用できないが、さめた人の愛は信用できる。
冷めた人の愛は信じられるし、醒めた人の愛はこの上なく信じられる。

「阿呆理詰日記 2259」 007/10/23
想像力をフルに働かせるには、想像力の最も欠如した人々の内的世界を生き生きと想像でき同化できなければな。

「阿呆理詰日記 2260」 007/10/24
命には代えられない理念の中には、命を賭けるべき信念もある。
金では買えない愛もあれば、愛では稼げない金もある。

「阿呆理詰日記 2261」 007/10/25
人間のすることばかり批判していると、人間そのものを批判することを忘れてしまう。

「阿呆理詰日記 2262」 007/10/26
みんなが愛を信じたら愛にとって破滅的。
愛と欲望の区別がなくなってしまう……。

「阿呆理詰日記 2263」 007/10/27
暴力を暴力で相殺することはできないが、侮辱を侮辱で中和することはできる。
愛を美で、善を聖で相殺することもしばしば望ましい。

「阿呆理詰日記 2264」 007/10/28
表面を飾るより、内面を飾るほうが欺瞞的。
内面を飾るより、内面を磨くほうが背信的。

「阿呆理詰日記 2265」 007/10/28

内面を磨くより、核心を磨くほうが内攻的。
核心を磨くより、核心を鍛えるほうが磨滅的。

「阿呆理詰日記 2266」 007/10/30

誰かが自分と同じことを考えてるとわかると、なんかうれしくてさ。
生の背景が人間不信である証しってか——

「阿呆理詰日記 2267」 007/10/31

条約破りの常習犯だったアドルフ・ヒトラーは、しかし条約マニアでした。何故条約を信じられたのか不思議の骨頂。自ら独ソ不可侵条約を破った半年後、真珠湾攻撃の直後に三国同盟の義務に入らなかつた対米宣戦布告に踏み切る。日本が急速単独不講和協定に同意したため対日疑念が晴れたと。同盟國中唯一対ソ攻撃に同調しなかつたうえ対米背信を行なつた日本なんぞを信じられたとは誠に謎。(皮肉にも3年半後ドイツ側から協定を破る羽目となり日本政府の正式抗議を招くというオマケ付き)

「阿呆理詰日記 2268」 2007/11/1

1944年、サイパン失陥やレイテ沖連合艦隊壊滅を契機として、日本は対米英講和を結ぶ(降伏する)こともできたはず。されば沖繩戦も原爆投下もなく犠牲者は大幅に少なかつたはず。

1944年、ドイツに比べればまだよほど余裕ある戦況下で日本が対米英講和を結んだ(降伏した)としたら、バドリオ政権にも劣る卑怯者として子々孫々軽蔑される国になっていたはず。(あの腰抜けのイタリアですら単独講和したのは本土決戦が始まってからだった)

さあ、人命を選ぶ? 名誉を選ぶ?

前者だと言いつれる人は少ないのではなからうか。原爆投下まで頑張らねばならない運命は、1941.12.11.の日独伊単独不講和協定の瞬間に決まっていましたナ。(だから「しょうがない」…。)

「阿呆理詰日記 2269」 2007/11/2

さあ、人命を選ぶ? 名誉を選ぶ?
さあ、人命を選ぶ? 信義を選ぶ?
さあ、実利を選ぶ? 名誉を選ぶ?
さあ、実利を選ぶ? 信義を選ぶ?
さあ、どの言い方を選ぶ?

「阿呆理詰日記 2270」 2007/11/3

さあ、どの言い方を選ぶ? さあ、どの言い方が好き? さあ、どの言い方を褒める? さあ、どの言い方がお薦め? さあ、どの言い方が正しい? さあ、どの言い方が善い? さあ、どの言い方が賢い? さあ、どの言い方が巧み? さあ、どの言い方が美しい? さあ、どの言い方が尊い? さあ、どの言い方が深い? さあ、どの言い方が受ける? さあ、どの言い方が許せる? さあ、どの言い方が使える? さあ、どの言い方が通じる? さあ、どの言い方が得? さあ、どの言い方が効く? さあ、どの言い方が気持ちいい? さあ、どの言い方が楽しい? さあ、どの言い方

が楽？ さあ、どの言い方が優しい？ さあ、どの言い方が温かい？ さあ、どの言い方が馴染む？
さあ、どの言い方が和む？ さあ、どの言い方が萌える？ さあ、どの言い方が癒される？ さあ、
どの言い方に酔える？ さあ、どの言い方に痺れる？ さあ、どの言い方に奮える？ さあ、どの
言い方に勃つ？ さあ、どの言い方が匂？ さあ、どの言い方の勝ち？ さあ、どの言い方が目出
度い？ さあ、どの言い方に幸あれ？

「阿呆理詰日記 2271」 2007/11/4

過ちを繰り返す原因はただ二つ。遅すぎた反省。早すぎた反省。
いや、過ちを繰り返す原因はただ三つ。遅すぎた反省。早すぎた反省。適時の癖になる反省。

「阿呆理詰日記 2272」 2007/11/5

「虚構の解釈は多様」というのはもちろん最大の虚構——

「阿呆理詰日記 2273」 2007/11/6

視野の広いやつの方が覗かれている確率が高い。

「阿呆理詰日記 2274」 2007/11/7

視野の狭いやつほど覗く側にいる確率が高い。

「阿呆理詰日記 2275」 2007/11/8

戦争協力者の資質はすぐわかる。平和な時には熱心に平和運動をやってるからね。

「阿呆理詰日記 2276」 2007/11/9

礼儀知らずなのではなく、気が動転してただけかもしれない。
冷たいのではなく、内気なだけかもしれない。
けれどももちろん、すぐ動転する人って礼儀知らず。内気は冷淡のもと。

「阿呆理詰日記 2277」 2007/11/10

愛の対象となる人と、人の目標となる愛ほど、噛み合わないものはない。
愛の主題となる人と、人の教訓となる愛ほど、溶け合うものはない。

「阿呆理詰日記 2278」 2007/11/11

愛の対象たる人の目標たる愛の…… 元に戻らない——
愛の主題たりうる人の教訓たりうる愛の…… どこにも進まない——

「阿呆理詰日記 2279」 2007/11/12

日和ってるだけなのに妥協してるととってもらえる。

そのくらい要領よけりゃ、日和らんでもよかろう。
バランスとれてるのに妥協してるととられてしまう。
そのくらい要領悪けりゃ、妥協しなきゃなるまい。

「阿呆理詰日記 2280」 2007/11/13

文学する意欲に駆られるかどうかは文学的資質のほとんどすべて。
哲学する衝動に駆られるかどうかは哲学的資質のほんの土台。

「阿呆理詰日記 2281」 2007/11/14

愛を満たしていないやつほど愛に満たされたがる。
満ち引きに動じないやつほど満ち欠けに狼狽える。

「阿呆理詰日記 2282」 2007/11/15

信じきった関係よりも、疑わしい関係のほうが、信じあえる。
疑わしい関係よりも、信じあった関係のほうが、疑いきれない。

「阿呆理詰日記 2283」 2007/11/16

欠点をなくしただけじゃダメさ。直したってまだダメさ。しっかり取り替えなくては。

「阿呆理詰日記 2284」 2007/11/16

自分が悪いと認めるのは、自分は愚かだと認めるよりずっと容易だ。
自分は愚かだと認めるのは、自分に魅力がないと認めるのに比べればなんでもない。

「阿呆理詰日記 2285」 2007/11/18

不愉快な嘘は許せるが、不愉快な真実は許せない。
不愉快な真実を認めるのはむずかしいが、飲み込むのはたやすい。

「阿呆理詰日記 2286」 2007/11/19

嘘がバレてもたいてい大丈夫。バレたのが嘘だけであるかぎり。

「阿呆理詰日記 2287」 2007/11/20

真実がバレたって案外大丈夫。真実以外のものがいっしょにバレてくれるかぎり。

「阿呆理詰日記 2288」 2007/11/21

バルバロッサもパールハーバーも、首尾よく奇襲になりえたのは、事前にウソとホントがごっちゃ
になってバレまくっていたからですね。

「阿呆理詰日記 2289」 2007/11/22

人を信じてる人は稀。信じたい人はまあまあいるが。
信じたい人は多くない。信じて得したい人ならいっぱいいるが。
信じて得したい人ばかり。信じるのが得という人はめったにいないのに。

「阿呆理詰日記 2290」 2007/11/23

妥協しても信じられない相手<信じても妥協できない相手<信じるのに妥協を要する相手<妥協すれば信じられる相手<信じなくても妥協できる相手<妥協しなくても信じられる相手<妥協を楽しめる相手<信じなくても楽しい相手<……<妥協してるのに信じられる相手<……<信じてもおもしろい相手!>……>……>信じてるから楽しくない相手

「阿呆理詰日記 2291」 2007/11/24

世の中をкаろうじて生きられるものになっているのは、嫌悪の作動と、愛の誤作動である。

「阿呆理詰日記 2292」 2007/11/25

矛盾が生ずると誰もがホッとす。しばらくの間は規則に従わずにすむからだ。

「阿呆理詰日記 2293」 2007/11/26

矛盾を見ると誰もがシャキッとす。それでも自分が変わらず生きてることに無意識に驚くからだ。

「阿呆理詰日記 2294」 2007/11/27

自分の運命を選びたいタチかどうか。運命にすでに選ばれているかどうかの分かれ目はそれ。

「阿呆理詰日記 2295」 2007/11/28

信じるのに疲れたら、いっそ、信じきってしまえばいい。
疑わしいのが苛つくなら、もちろん、疑いとげればよかろう。

「阿呆理詰日記 2296」 2007/11/29

よき生に二種。充実した死で終えられたから。死はどれも不本意だったから。

「阿呆理詰日記 2297」 2007/11/30

懲りたのに、飽きたと思える人。
尽きたのに、遂げたと思えられる人。

サウイフモノニ――

「阿呆理詰日記 2298」 2007/12/1

勃起しているからといって、芸術的に見てないとはかぎらない。

「阿呆理詰日記 2299」 2007/12/2
萎えているからといって、下心なしとはかぎらない。

「阿呆理詰日記 2300」 2007/12/3
半勃ちだからって、優柔不断だとはかぎらないって言うてるでしょうが。

「阿呆理詰日記 2301」 2007/12/4
自己満足すらままならぬ身で自己啓発にいそしむこの自己矛盾。
自己陶醉によって自己犠牲を厭わないだけなのにこの自己欺瞞。

「阿呆理詰日記 2302」 2007/12/5
意味深な振り返りの真意をあれこれ忖度するのは自由だが、たいていの場合、スカシ屁をしたくなっただけだから。

「阿呆理詰日記 2303」 2007/12/6
目的のない手段は虚しいが、目的を見失わない程度の手段はもっと虚しい。

「阿呆理詰日記 2304」 2007/12/7
手段を目的化するも目的を手段化するもそれぞれ厄介なれど、目的が目的のままとはもっと厄介。

「阿呆理詰日記 2305」 2007/12/8
誤解していると、うまく騙せない。しっかり欺くには、相手をよくよく理解しないと。

「阿呆理詰日記 2306」 2007/12/9
出産の痛みと痛風の痛み・どちらが上かは体験しないとわからない。恋愛の苛立ちと失恋の悔しさ・どちらが上かは体験するとわからない。

「阿呆理詰日記 2307」 2007/12/10
背に腹は代えられない。が、背をおろそかにすると頭をやられる危険性が高くなる。

「阿呆理詰日記 2308」 2007/12/11
腹に頭は代えられない。が、頭を守って目まで隠すともっと危ないことになるので。

「阿呆理詰日記 2309」 2007/12/12

意地悪することでしか好意を表わせない子供もいれば、絶賛することでしか嫉妬を隠せない大人もいる。猥談をすることでしか節度を示せない男もいれば、被害を訴えることでしか優位を誇れない女もいる。

「阿呆理詰日記 2310」 2007/12/13

死の瞬間がこわいのは、記憶に決して残らないからだろう。
そして記録にはしっかり残りうるからだろう。

「阿呆理詰日記 2311」 2007/12/14

割り切った関係ほど、ほとぼりのさめにくいものはない。

「阿呆理詰日記 2312」 2007/12/15

世の中を舐めきるんだ。しゃぶって頬張って、呑んでかかれや。世の中腐ってたらもろとも中毒死する覚悟でな。

「阿呆理詰日記 2313」 2007/12/16

忘れっぽくても大丈夫。忘れがちってことを覚えてるかぎり。
忘れられなくても大丈夫。それこそろくに覚えちゃいない証拠だから。

「阿呆理詰日記 2314」 2007/12/17

好きだからといって、何でも許されるというものではない。
憎んでるということなら、何だって納得されるのであるが。

「阿呆理詰日記 2315」 2007/12/18

努力をあまり礼讃しないがよい。
法と倫理に反してきっちり稼ぐには、地道にコツコツ働くより何倍もの努力を要するわけだし。

「阿呆理詰日記 2316」 2007/12/19

わからないことだらけでも大丈夫。わからなさの質の違いを区別できるかぎり。

「阿呆理詰日記 2317」 2007/12/20

目覚めたやつより酔い痴れたやつのほうが目覚ましいことをするのであれば、
落伍したやつより覚悟したやつのほうが錯誤しやすいのも無理はない。

「阿呆理詰日記 2318」 2007/12/21

なぜベストを尽くさないのか。

ベストの意味がわからないから。何がベストかわからないから。ベストなどないから。ベストがベストとはかぎらないから。ベストは尽くせないものだろうから。ベストを尽くすと後がないから。

「阿呆理詰日記 2319」 2007/12/22

哀しき不可能五種。賭けの必勝法。惰性の克服法。疑念の解消法。誠意の評価法。無垢の獲得法。

「阿呆理詰日記 2320」 2007/12/23

本当に覚えていたら、とうてい思い出せはしないだろう。

←2313

「阿呆理詰日記 2321」 2007/12/24

机上の空論は（ ）を隠し通す煙幕。とくに「机上の空論」という評価が。

ア 机上の謀略 イ 机下の策動
ウ 座右の魂胆 エ 座興の実弾

「阿呆理詰日記 2322」 2007/12/25

学芸の原動力ったら貧乏性。「問うたからにや答えにや」

「阿呆理詰日記 2323」 2007/12/26

無感動になってきたことを目が肥えてきたと言い、不感症なのを選び好みが激しいと言い続ければ、無感も不感も敏感へ転化することは確かだ（鈍感に解釈すれば）。

「阿呆理詰日記 2324」 2007/12/27

文字通りの意味しか持たない発話 が 本音を語り
表記通りの意味を持たない論説 が 建前を担っている。

「阿呆理詰日記 2325」 2007/12/28

建前を語るのに使えない言葉で本音を叫ぶべからず。
本音のこもっていない言葉で建前を綴るべからず。

「阿呆理詰日記 2326」 2007/12/29

砂上に楼閣を建てようとするやつは愚か。楼閣を建てたが砂上だったというやつは不運。砂上に立てたのが楼閣だったというやつは偉大。

「阿呆理詰日記 2327」 2007/12/30

砂上に立てたのに楼閣だったというやつあそりゃ幸運。

「阿呆理詰日記 2328」 2007/12/31

本能は人に飽きることを知らない。論理は人を飽きさせない。本能にとことん逆らいながら、決して背くことがないから。

「阿呆理詰日記 2329」 2008/1/1

ふと気づいたりする不思議。

チョイ身近を見回してもあれだけいる魅力的な才人、変人、奇人、賢人、哲人、達人、美人、粹人。

うち九割九分が歴史にわずかな足跡も残さないとは！

「阿呆理詰日記 2330」 2008/1/2

バレた場合は仕方がない、隠してたってことだけは隠し通せ。

隠してたってことがバレたら仕方がない、隠してたことを隠してたことだけは隠し通せ。

隠してたことを隠してたことがバレたら仕方がない、……

(正確に何ラウンドまでバレても仕方あるですか?)

「阿呆理詰日記 2331」 2008/1/3

暴論を述べるのに暴言をもってする必。

暴言に対して暴力をふるってはいけない。

暴力に訴えるにせよ暴虐にならないほうがよい。

暴虐になったとておいそれと暴君の名はほしいままにできない。

暴君たるもの暴論にかまけている暇などない。

「阿呆理詰日記 2332」 2008/1/4

暴飲暴食はやめられなくても暴走を続けるべき理由はない。

暴走を始めたとして暴挙に出たとはかぎるまい。

暴挙に出ても暴動に至らなければよしとしよう。

暴動の中でこそ暴利を狙うやつばかり。

暴利ほどたやすく暴落しうるのに。ただしさらに暴騰しがちであるだけに。

と唱えることが暴論ととられるおそれはまずなかろう。暴投したり暴発させたりせぬかぎり。

「阿呆理詰日記 2333」 2008/1/5

欲するたびに飽きる予感。追うたびに諦める確信。

予感するやいなや外れる確信。確信するやいなや迷う予感。

「阿呆理詰日記 2334」 2008/1/6

目が肥えてきたからといって、心が肥えてきたとはかぎらない。

選り好みが激しいわりに、選られ好まれが穏やかであることしばしば。

「阿呆理詰日記 2335」 2008/1/7

掃除機が自分を掃除できるのも、洗濯機が自分を洗濯できないのも、偶然である。
掃除機が自分に相似してるのも、洗濯機が自分を選択できないのも、必然である。

「阿呆理詰日記 2336」 2008/1/8

酔は愛の代わりにはなりえないが、取って代わることはできる。

「阿呆理詰日記 2337」 2008/1/9

秘密の数だけ、人生は充実している。と感じられる秘密の数だけ、人生は充実しています。

「阿呆理詰日記 2338」 2008/1/10

何事も失うより得るほうが快いが、依存と偏見は典型。
何事も生み出すより壊すほうが簡単だが、依存と偏見は例外。

「阿呆理詰日記 2339」 2008/1/11

本当の対話は決して対話調ではあるまい。

「阿呆理詰日記 2340」 2008/1/12

愛するのがへたなのか、愛するのが嫌なのか、愛さずとも足りているのか。
分かれ目と結び目との結び目はたいていそのへん。

←2187

「阿呆理詰日記 2341」 2008/1/13

友好は、敵対よりもはるかに激しい状態である。好戦的な人とは、平和の複雑さに耐える闘志に乏しい人であろう。

「阿呆理詰日記 2342」 2008/1/14

粹とは、野暮な役回りを喜んで引き受ける性格のこと。
野暮とは、粹な役回りしか楽しめない性格のこと。

「阿呆理詰日記 2343」 2008/1/15

ひとめ正反対じつはいっしょシリーズ①
決して退屈しない。退屈に対して以外は。
決して退屈しない。退屈に対してだけは。

「阿呆理詰日記 2344」 2008/1/16

デリケートなポストが鷹揚な人物で務まるようになると、事態は静穏。
デリケートなポストに鷹揚な人物が求められるようになると、事態は切迫。

「阿呆理詰日記 2345」 2008/1/17

ベタなセリフが苦手なやつは芸術家向き。
ベタな感情が苦手なやつは敗残者向き。

「阿呆理詰日記 2346」 2008/1/18

ベタなセリフが苦手なやつは芸術家向き。
ベタなセリフは芸術家向け。

「阿呆理詰日記 2347」 2008/1/20

ベタなセリフとはたとえばもちろんベタ褒めだったり。
下手なセリフが目立ち上手を煽てたり育てたり。

「阿呆理詰日記 2348」 2008/1/20

本当の対話調は決して対話調ではあるまい。

←2339

「阿呆理詰日記 2349」 2008/1/21

強いものの前では黙れ。しかしこの言葉の前で黙ってはいけない。
←2174

「阿呆理詰日記 2350」 2008/1/22

「自分が本当にしたいこと」に気づいてしまったら。
「自分で本当にできること」かどうかわからないふりをつけようか。

「阿呆理詰日記 2351」 2008/1/23

正確に思い出すのは至難。自分の体験であればなおさら。
忠実に従うのは簡単。自分の信念にさえ。

「阿呆理詰日記 2352」 2008/1/24

幸福度が上がったことなのに幸福色に染まってるやつ。幸福量がずば抜けてるくせに幸福感がさっぱりのやつ。どうかと思うが、なんせ幸福だったら仕方ないか。

「阿呆理詰日記 2353」 2008/1/25
なに言ったってぶっちゃけ無駄ですよ。幸福な人には。

「阿呆理詰日記 2354」 2008/1/26
スリリングな人生とは、惰性に飽きない人生。
波瀾万丈な生涯とは、定型を厭わない生涯。

「阿呆理詰日記 2355」 2008/1/27
自分の才能を信じすぎてはいけないが、自分のアイデアはいくらでも信じよ。

「阿呆理詰日記 2356」 2008/1/28
たいていのことは希望どおりにも志望どおりにもいくまいが、羨望どおりに行くことは多かろう。

「阿呆理詰日記 2357」 2008/1/29
犬が人を咬んでもニュースにならないが人が犬を咬めばニュースになる、てなこと言ったの誰だ
っけ。
世の中そんなに面白いものじゃないんよね。人が犬を咬み殺したより、人が犬に咬み殺されたほ
うがやっぱでかいニュースになっちゃうのよ。結局は。まず間違いなく。
虎だろうが鯨だろうが同じことよ。

「阿呆理詰日記 2358」 2008/1/30
多数決で真理を決めないほうがよい。が、結局はそうすべきである。
多数決で善悪を決めるべきではない。が、結局はそうしたほうがよい。

「阿呆理詰日記 2359」 2008/1/31
平和が不可能である世界よりも不可解なのは、平和が必然である世界。
幸福が不可能である社会よりも不幸なのは、幸福が義務である社会。

「阿呆理詰日記 2360」 2008/2/1
書こうとしても思いつかなかった言葉と、書きとめる前に忘れてしまった言葉とが、どこかで [増
幅し・相殺し] つつ [中和し・共鳴し] あっている。

「阿呆理詰日記 2361」 2008/2/2
カネへのこだわり度はもちろん、「世の中カネじゃない」式セリフの頻度に比例する。
愛への鈍感度はもちろん、「なにはなくとも愛あればしあわせ」的姿勢の濃度に比例する。

「阿呆理詰日記 2362」 2008/2/3
悪意より悪いのはただ一つ、間違った善意。

間違った善意より間違っているのはただ一つ、間違った良心。

「阿呆理詰日記 2363」 2008/2/4

どうも二文構成対句スタイルが多いような気が。厚かましく一文ずつ息長く続けろや……

「阿呆理詰日記 2364」 2008/2/5

反語が本当の反語として言われたなら反語的に反語と称しうるにすぎまい。
皮肉が紛れもなく皮肉と受け取られたなら皮肉にも皮肉に値しまい。

「阿呆理詰日記 2365」 2008/2/6

幸福が副産物なら、愛は副作用。

「阿呆理詰日記 2366」 2008/2/7

臆病がしばしば謙虚と見られるから。
偽善がしばしば洗練と受け取られるから。

「阿呆理詰日記 2367」 2008/2/8

迷妄がしばしば思索的と煽てられるから。
並列がしばしば奥行きと嘆じられるから。

「阿呆理詰日記 2368」 2008/2/9

並列されたからといって並立したとはかぎらない。
直列するのが必ずしも直立したものばかりではないように。

「阿呆理詰日記 2369」 2008/2/10

併記されたからといって同格とはかぎらない。
拮抗するものどうしが必ずしも平衡を保ててはいないのに伴って。

「阿呆理詰日記 2370」 2008/2/11

どうやら二文対句スタイルの原則を改める気はなさそうだな……

「阿呆理詰日記 2371」 2008/2/12

愛たるもの、ホルモンの誤作動。
美たるもの、フェロモンの副流煙。

「阿呆理詰日記 2372」 2008/2/13

愛の源つてもっぱら利己心。
性愛、恋愛、友愛、慈愛、博愛……右寄りに寄れば寄るほど。

「阿呆理詰日記 2373」 2008/2/14
人間みなしよせん動物。
結構じゃないか。
静物みたいなやつらばかりの現状であってみれば。

「阿呆理詰日記 2374」 2008/2/15
世のトラブルの半分は、「決定済み」を「解決済み」と決め込むことから。
残りのうち半分は、「未解決」を「未決定」と解することから。

「阿呆理詰日記 2375」 2008/2/16
生きる喜びを説いたって無駄。
生きていく喜びをわからせなければ。

生きていく喜びをわからせようたって逆効果。
生きてきた喜びが記憶されてなければ。

「阿呆理詰日記 2376」 2008/2/17
世に名高い天才の半数以上は、天才というより演才である。

「阿呆理詰日記 2377」 2008/2/18
正義の真の敵は、悪ではない。他の正義である。
無法の本当の味方が、使える法であるように。

「阿呆理詰日記 2378」 2008/2/19
燃え尽きるのは、つねに、不完全燃焼ゆえ。
あるいは、燃料不足ゆえ。

「阿呆理詰日記 2379」 2008/2/20
第一印象で即決すべし。第零印象に惑わされている場合は別だが。

「阿呆理詰日記 2380」 2008/2/21
宇宙の中でここがきわめて特殊なのは、（ ）という概念が点っているのがここだけだからである。

1. 宇宙
2. ここ
3. 特殊

「阿呆理詰日記 2381」 2008/2/22

自分の中で今がとりわけ大切なのは、() という概念を初めて本当に意識したのがたった今だからである。

1. 自分
2. 今
3. 大切

「阿呆理詰日記 2382」 2008/2/23

命の次に大切なものを守るより、命を守れ。
命を守るより、命より大切なものを守れ。
命より何が大切かを知るより、命の次に何が大切かを知れ。

「阿呆理詰日記 2383」 2008/2/24

憎悪や嫉妬の感情は、押し殺してはいけない。捨て去ってもいけない。生け捕りにしなければ。

「阿呆理詰日記 2384」 2008/2/25

この世の紛糾は、たいてい、アンバランスから。
躁の人は一目瞭然なのに、鬱の人ははた目全然わからないなどなど。

「阿呆理詰日記 2385」 2008/2/26

悪をなくすのは合理的。
悪を悪と責めつづけるのはもっと合理的。
なので合理的な社会から悪は決してなくなるらない。

「阿呆理詰日記 2386」 2008/2/27

他人を尊重しよう。って無理だし無駄だし。
他人が尊重するものなら尊重しよう。あたりでどうですか。

自分を尊重してない輩ばかりの現実を思えば。

「阿呆理詰日記 2387」 2008/2/28

あのころやさしきひとたち。
愛を育みはするが愛を創造できはしない人たち。

「阿呆理詰日記 2388」 2008/2/29

あのころざしきびしきものたち。
知を創造しても知の恵みは人まかせの者たち。

「阿呆理詰日記 2389」 2008/3/1

知より大切なものを知るより、知の次に大切なものを知るほうが、大切——
知を育むより、知の代わりになるものを育むほうが、知的——

←2382

「阿呆理詰日記 2390」 2008/3/2
定説化は、伝説化によってのみ達せられる。

「阿呆理詰日記 2391」 2008/3/3
人の鬱はそれなりに察せられても、鬱の人かどうかは全然わからなかったりなどなど。

←2384

「阿呆理詰日記 2392」 2008/3/4
愛における論理と情緒の関係は、そばにおけるそばゆとそばつゆの違いに相当します。

「阿呆理詰日記 2393」 2008/3/5
専門家にすらわからないのに、素人に判断できるわけがない。
専門家にすらわからないのだから、素人の判断で十分だ。
どちらも同じことしか言っていないのに。だからそれ以上を言えている。

「阿呆理詰日記 2394」 2008/3/6
しまった。やじろべえを忘れていた。

←1865

「阿呆理詰日記 2395」 2008/3/7
富では買えないものを力でも勝ち取れず愛でも賄えないときに美では表わせぬまたは快では喩えられぬところで聖では伝えられないように命には代えられない諸々をこそ名誉で償えずましてや正義で裁けないものとして、よもや謎では問い尽くせぬまま真理で答え遂げられもしないからには、健康に障るか否かおよび利に疎いか否かよりも道を外れたか否かにさえかかわらずどのみち運か縁か恩か勘に恵まれぬかぎり神にも救うことはできまいて——

「阿呆理詰日記 2396」 2008/3/8
公平さは大切である。
そう、ほんとうに公平であることより、いかにも公平そうに見えることこそ大切である。

「阿呆理詰日記 2397」 2008/3/9
反俗の覇気は、通俗の専制のもとでのみ。
脱俗の不羈は、還俗の潜勢あってこそ。

「阿呆理詰日記 2398」 2008/3/10

カケコミ乗車はおやめください、の駅アナウンスが、まだ間に合う、の合図となってダッシュを誘発しつづけている件について。

「阿呆理詰日記 2399」 2008/3/11

自由と平等が相反するごとく、愛と快は両立しない。

「阿呆理詰日記 2400」 2008/3/12

空気が読めないのは、空気は読むものだど勘違いしているからである。

「阿呆理詰日記 2401」 2008/3/13

トラウマを持ってるってだけで、深みのある人間と思われちゃ迷惑ですよ。

「阿呆理詰日記 2402」 2008/3/14

信じる意志こそ飛躍の鍵。なのでとりあえず信じたい衝動を全部解除しといてください。

「阿呆理詰日記 2403」 2008/3/15

専門家でないといけないことの 99.999999999%は、専門家にすらわからないことである。
専門家にすらわからないことの 99.999999999%は、専門家だからよけいわからないことである。

「阿呆理詰日記 2404」 2008/3/16

注目の的にやってるやつに注目しても、的に注目できたことにはならない。

「阿呆理詰日記 2405」 2008/3/17

調子に乗っていると流れに乗れまい。
空気ばかり読んでいると先が読めまい。

「阿呆理詰日記 2406」 2008/3/18

多数決で決めるべきかどうかを多数決で決めよう。決めたとおりに決まったかどうかを多数決で確かめよう。決まったことを守るべきかどうかを多数決で決めよう。本当に守れているかどうかを多数決で確かめよう。本当に多数決だったかどうかを多数決で顧みつつ。

「阿呆理詰日記 2407」 2008/3/19

モテてモエないのと、モエてモテないのと、サエてサメないのと、サメてサエないのと、ノレてホレないのと、サせてサレないのと、スレてヌレないのと、ウけてヌケないのと。——イケてるのって、ニゲてるのぽっか。

「阿呆理詰日記 2408」 2008/3/20

ミテるばかりで、モテない。
モテたかとおもえば、マテない。
マテるようになったのに、ミテなかった。

キテるばかりで、カテない。
カテたかとおもえば、カネない。
カネでは、コない。

「阿呆理詰日記 2409」 2008/3/21

……似てるのに相容れぬ……命と火……正義と愛……情熱と誠実……道理と論理……類似と隣接
……

「阿呆理詰日記 2410」 2008/3/22

包括的な議論はツッコミに弱い。
突っ込んだ議論は横槍に弱い。
横断的な目配りを心がけると一言で丸め込まれ。
丸めるのと包むのはちと違うのだが。

「阿呆理詰日記 2411」 2008/3/23

秘密は漏洩されてもまだ秘密ですが、濾過されたらもはや過密です。

「阿呆理詰日記 2412」 2008/3/24

冗談の通じないやつには誠意も通じないんだなとわかってきた今日この頃。
皮肉の通じないやつにかぎってお世辞が通じるらしいとすでにわかっていた昨夜あの頃。

「阿呆理詰日記 2413」 2008/3/25

「やさしさ」の反対と聞いて。

……………

「つめたさ」を思い浮かべた人は、「きびしさ」を思い浮かべた人よりも、「つれなさ」を思い
浮かべた人と「むずかしさ」を思い浮かべた人との距離と同じだけ、やさしさに詳しいといえる。
「むごさ」を思い浮かべた人と「けわしさ」を思い浮かべた人が一致して異論を唱えなければ。

「阿呆理詰日記 2414」 2008/3/26

「こわさ」だの「くらさ」だのを思い浮かべる人が首を傾げたかぎりにおいて。
「たくましさ」だの「りりしさ」だのを思い浮かべてしまう人がついていけないかぎりにおいて。

「阿呆理詰日記 2415」 2008/3/27

自己の限界を破るには、閉所恐怖に囚われてはならない。
内から破るにせよ、外から破るにせよ。

「阿呆理詰日記 2416」 2008/3/28

決断の早い人って——

確信なき状態が耐え難くてしゃにむに抜け出たがる臆病な人でしょ？ それとも——

「阿呆理詰日記 2417」 2008/3/29

世を動かすただ2種類の出来事。

「虚構であれば楽しめたのに……」的出来事と「現実でなくてよかったなあ……」的出来事と。

「阿呆理詰日記 2418」 2008/3/30

具体例を求める人ほど、「具体」なる語を抽象的に使っている。

抽象化を重んじる人ほど、「抽象」なる概念を具体的に思い描いている。

「阿呆理詰日記 2419」 2008/3/31

隠し事をするには、包括的な議論で包み隠すのが一番かも。

「阿呆理詰日記 2420」 2008/4/1

空気を読んだってダメさ。風を読まなきゃ。

風を読んだって不十分さ。風を起こさなきゃ。

風を起こしても逆効果さ。すぐ風下にまわらなきゃ。

「阿呆理詰日記 2421」 2008/4/2

歴史とは、どう記憶するかを選択術。

そしてどう選択しつづけるべきかの記憶法。

「阿呆理詰日記 2422」 2008/4/3

われわれが得たものの九割は、もともと持っていたもの。

失ったものの九割九分は、もちろんはじめから持ってなかったもの。

「阿呆理詰日記 2423」 2008/4/4

人生いかに生きるかの問いが生ずるのは、人生とは問いであることが忘れられた瞬間だけ。

「阿呆理詰日記 2424」 2008/4/5
孤独が怖い？ 格好つけんでください。単に沈黙に耐えられないだけでは？

「阿呆理詰日記 2425」 2008/4/6
——深層——のうわべの反対語は——表層——。
——深層——の真の反対語は——真相——。

「阿呆理詰日記 2426」 2008/4/7
新しさにこだわるのって、古い。
古さをめでるのって、新しくない。

こだわりをわりきるのって、わりきれてない。
わりきりにこだわるのって、こだわられてない。

「阿呆理詰日記 2427」 2008/4/8
見つけたチャンスを生かせるやつの、勝ち。
見つけもしないチャンスを生かせるやつの、上がり

「阿呆理詰日記 2428」 2008/4/9
孤独を好むのは、孤立するのがこわいから。

「阿呆理詰日記 2429」 2008/4/10
人を信じるには、人は信じざるをえないほど薄っぺらだと信じる必要があります。
人を疑うには、人は信じられないほど奥深いと信じるだけで十分です。

「阿呆理詰日記 2430」 2008/4/11
美人は一目でわかるのに、賢人は一目じゃわからない。これ自然の便宜にして文明の悲劇。
愚かさは一言でバレるのに、邪さは一言じゃ見破られず。これ文明の便宜にして自然の悲劇。

「阿呆理詰日記 2431」 2008/4/12
野心と希望が相携えたからといって、執着が努力に変わるものでもない。

「阿呆理詰日記 2432」 2008/4/13
理性と衝動が融け合ったとて、耽溺が研究と認められるものでもなし……。

「阿呆理詰日記 2433」 2008/4/14
トップダウンかボトムアップかの議論はもうたくさん。

トップアップもボトムダウンもと言い出したところで埒あかず。
概念が褪せていると新語もただの誤用も錆色一色にまみれるばかりで。

「阿呆理詰日記 2434」 2008/4/15
償うはつねに美德。償いつづけるはもっと美德。
許すは常に美德。許しつづけるはもっと美德。
——お互い節約していきましょう。

←2385

「阿呆理詰日記 2435」 2008/4/16
困難を克服するため——
大切なのは、克服に値する困難に出遭うこと。
もっと大切なのは、克服できる困難を選ぶこと。
一番大切なのは、克服されたのが困難だったと憶えていること。

「阿呆理詰日記 2436」 2008/4/17
不満を解消するのに——
一番重要なことは、不満への執着を捨てること。
もっと重要なことは、一番よりもっと上があるなどと思わないこと。

「阿呆理詰日記 2437」 2008/4/18
懐疑。あらゆる不幸の端緒にして、あらゆる幸福の神髄。

「阿呆理詰日記 2438」 2008/4/19
愛で解決できない問題はない。
↑この偽善を正すという問題以外は。
金で解決できない問題はない。
↑この貧しい考えを格調高くするという問題以外は。

「阿呆理詰日記 2439」 2008/4/20
何も失うものを持たぬ者は強い。「何も失うものはない」という立場すら持たぬ者は。

「阿呆理詰日記 2440」 2008/4/21
「これこれの本能がある」「これこれは善い」——この2つを区別できないのは、本能的な人。同一視できるのは、善人。

「阿呆理詰日記 2441」 2008/4/22
現実を直視するには、色眼鏡を現実的に選ばねばならない。

「阿呆理詰日記 2442」 2008/4/23

沈黙の訪れか……。諦めたのと、語り終えたのと、絶句したのと、声が嘎れたのと。聴き分けられないと、一つを除くすべてを自ら繰り返す羽目になろう。

「阿呆理詰日記 2443」 2008/4/24

自分へのご褒美、じゃなかなか機会が巡ってこんでしよう。自分に迷惑かけたお詫び、ちうことでちよくちよく奮発してやりいな。

「阿呆理詰日記 2444」 2008/4/25

信じてもらえなければ友人ではない。疑ってもらえなければ親友ではない。褒めてもらえなければ友だちではない。貶してもらえなければ恋人ではない。

「阿呆理詰日記 2445」 2008/4/26

かりに神がいるとしても、すべての美德を備えてるなんてありえないね。だって、こともあろうに神だなんて、謙虚さに欠けるにもほどがあるよ。

「阿呆理詰日記 2446」 2008/4/27

完璧に尾行したければ、尾行されるよう仕向けること。
尾行→監視、理解、求愛、共感、回避、遠慮、嫌悪、、、、
され→させ、させられ、されさせ、させさせ、、、、
仕向け→仕掛け、仕付け、仕分け、仕上げ、、、、

「阿呆理詰日記 2447」 2008/4/28

自分が善人でありたいからとて、まわりを悪人扱いするにおよばず。
まわりが善人揃いであってほしいからとて、自分まで善人たるにおよばず。

「阿呆理詰日記 2448」 2008/4/29

正直に生きよ！ あなたの好む憶測に正直に！

「阿呆理詰日記 2449」 2008/4/30

現実ってどうせただ一つなら。
楽観的に生きよう。そのほうが幸福だから。
悲観的に生きよう。そのほうが美的

「阿呆理詰日記 2450」 2008/5/1

本当のやさしさより、うわべのやさしさのほうが、百倍も深く人を救っている。

芯の強さより、強がりで見栄のほうが、千倍も力強く本人を励ましている。

「阿呆理詰日記 2451」 2008/5/2
再挑戦がたいというまくいかないのは、実は初挑戦だからである。

「阿呆理詰日記 2452」 2008/5/3
最も厄介な弱点は2つ。弱点を知られやすいたち。弱点を知らせにくいたち。

「阿呆理詰日記 2453」 2008/5/4
かりに唯一絶対の神がいるとしても、すべての美德を備えてるなんてありえないね。
だって、唯一絶対だなんて、謙虚さに欠けるにもほどがあるよ。
(2445・推敲前)

「阿呆理詰日記 2454」 2008/5/5
波乱の人生。損な成功と得な失敗から成る経歴。
平凡な人生。安全な賭けと危うい保険から成る軌跡。

「阿呆理詰日記 2455」 2008/5/6
共通感覚の私物化だけが、私情の公認をもたらす。政治においても、芸術においても。

「阿呆理詰日記 2456」 2008/5/7
フラレるのにゃ慣れたがフルのにゃ慣れない？
イイヨるのにゃ飽きたがイイヨラレるのにゃ飽きない？
左右の回数、そこそこ均衡しているうちは。

「阿呆理詰日記 2457」 2008/5/8
愛なき約束と、約束なき愛。ともに素晴らしい。相手が同一人物である場合、特に。

「阿呆理詰日記 2458」 2008/5/9
「諦めるな！」——「一番ましな諦めかたを探せ！」の意。

「阿呆理詰日記 2459」 2008/5/10
うろ覚えでも大丈夫。どのみち付け焼き刃の記憶など。

「阿呆理詰日記 2460」 2008/5/11
いま私たちが唯一必要とするのは、どんな必要のために何が必要かを決めてくれるものなら何でも。

「阿呆理詰日記 2461」 2008/5/12

秘密を打ち明けあったからといって信じあえるわけでないのと同じこと。
外交辞令を信じさせたからといって体面を守れたとはかぎらぬのは。

「阿呆理詰日記 2462」 2008/5/13

誰も女に生まれえない。女になるのだ。そう考えるように誰も生まれえない。そう考えるようになるのだ。

「阿呆理詰日記 2463」 2008/5/14

金持ちって決して満たされなさそう。
満たされるのは、金持ちをうまく真似る者。

「阿呆理詰日記 2464」 2008/5/15

始まったときに終わるのが死だが、友情の死も恋愛の死も終わったときに始まる。

「阿呆理詰日記 2465」 2008/5/16

ぶっちゃけ躊躇われると、萌える。固まられると、引く。拘られると、醒める。任されると、萎える。喘がれると、白ける。てなふうには踏ん切られそうだから、ただ拒否るだけ。

「阿呆理詰日記 2466」 2008/5/17

愛し始めるのは本能。愛し続けるのは規律。愛しやめるのは技術。

「阿呆理詰日記 2467」 2008/5/18

話題があるから飽きないのが友情。話題があっても飽きるのが恋愛。
話題がないと飽きるのが友情。話題がなくても飽きないのが恋愛。

信頼を保っているから信じられるのが友情。信頼を保っていても信じられないのが恋愛。
信頼を失っては信じられないのが友情。信頼を失っても信じられるのが恋愛。

意見が合うから……

寛ぎがあるから……

秘密があるから……

歴史があるから……

「阿呆理詰日記 2468」 2008/5/19

話題が乏しいやつは何十年生きてても話題貧乏。
話題に溺れるやつは生き始めっから話題の波間。

「阿呆理詰日記 2469」 2008/5/20

何でも言いあえる仲なら信頼しあえてる、とは限らんでしょう……
何でも隠しあえる仲なら信頼しあえてる、とは言えるでしょう……

「阿呆理詰日記 2470」 2008/5/21

一番印象に残る光景は、記憶が覆いそびれた光景。
一番記録に残る事件は、引用から削りそこねた事件。

「阿呆理詰日記 2471」 2008/5/22

顔が一番美しく見えるのは俯き加減の角度であるように、やや下降気味のとき人生一番魅力的。

「阿呆理詰日記 2472」 2008/5/23

善人の悪意より悪人の好意。
聖人の俗情より俗人の理念。
賢者の誤謬より愚者の洞察。
美女の醜態。醜女の媚態より。

「阿呆理詰日記 2473」 2008/5/24

すべての諺は使用済みだろうか？
未使用の教訓は（ ）可能だろうか？
発見 発明 発達 発生 発芽 発注 発行

「阿呆理詰日記 2474」 2008/5/25

どんなことであれ、何かの理由になりうる。
どんなことの理由にもなりうる何かがある。
すべてのことの理由になりうる何かがある。
どんなことであれ、どんなことの理由にもなりうる。
どんなことであれ、すべてのことの理由になりうる。
すべてのことは、どんなことの理由にもなりうる。
すべてのことは、すべてのことの理由になりうる。
真実はどれ？
理由は？

「阿呆理詰日記 2475」 2008/5/26

男は——
女が思っているより餓えている。女が思いたがっているほど溜まってない。

「阿呆理詰日記 2476」 2008/5/27

女は——

男が思っているより覚悟よし。男が思いたがっているほど準備なし。

「阿呆理詰日記 2477」 2008/5/28

男は——

男が思っているより男。男が思いたがっているほど男じゃない。

女は——

女が思っているほど女じゃない。女が思いたがっているより女だつてば。

「阿呆理詰日記 2478」 2008/5/29

男と女は——

一方が思っているほど近くない。他方が思いたがっているほど遠くない。

男も女も——

互いに思っているほど誠実じゃない。一方的に思っているほど切実じゃない。

「阿呆理詰日記 2479」 2008/5/30

何が起ころうが、神の存在の証明にはならない。

しょせん人間の知覚のスケールでは。

神々しい声が降ってこようが奇跡が頻発しようが、ヤラセの確率をはるかに高い。

「阿呆理詰日記 2480」 2008/5/31

世界にあれほど不幸が満ちていることが怖ろしいのではない。

あれほど不幸があっても幸福な人々がいることが怖ろしいのだ。

世界にあれほど愛が行き交っていることが素晴らしいのではない。

あれほど愛しあってる人々に悩みが尽きないことが素晴らしいのだ。